

新本社および地域貢献施設建設着手、 中期経営計画上方修正

2025年10月22日

- ✓ 昨年7月に「Orbrayが中期経営計画を策定、2029年のIPO目指す、新本社・新工場の計画は前倒し」に関する記者会見・プレスリリースを行って以降、湯沢を核とした事業継続に向けて、新本社に必要な機能の検討を進めてまいりました。併せて、湯沢市のご協力のもと実施したワークショップにて頂戴した貴重なご意見を踏まえ、地域との共存共栄に向けて「Orbrayにできること」についても検討を重ねてまいりました
- ✓ こうした社内での検討、湯沢市・秋田県庁をはじめとする地域関係者の皆様との綿密な協議の結果、このたび、建設予定地（湯沢市成沢）に関する土地譲渡が令和7年第3回湯沢市議会定例会にて正式に可決されました
- ✓ 可決承認を受け、本計画の第一段階として、新本社及び地域貢献施設の建設に着手いたします。これらの施設は、Orbrayの次なる成長の基盤であるとともに、地域社会との連携を一層深める拠点としての役割を担うものと位置づけております。さらに、地域の活性化や雇用創出にも寄与できるよう、持続可能な運営体制の構築を目指してまいります
- ✓ つきましては、本日は①新本社・地域貢献施設の概要に加え、②直近の業績状況・中期経営計画の検討状況についてもご報告申し上げます

新本社・地域貢献施設の概要

1. 県有地に新本社・地域貢献施設を設計・施工（延床面積2,172㎡）

- 2025年中に基本計画・設計
- 2026年中までに竣工
- 技術者や新入社員の教育、弊社製品・技術のショールーム + α の新機能
- 役員・社長室・人事総務・広報・教育研修・IPO準備室を予定し、今後に計画するIPOや新工場・独身寮など建設準備の拠点として活用

2. 工業団地に新工場を設計・施工

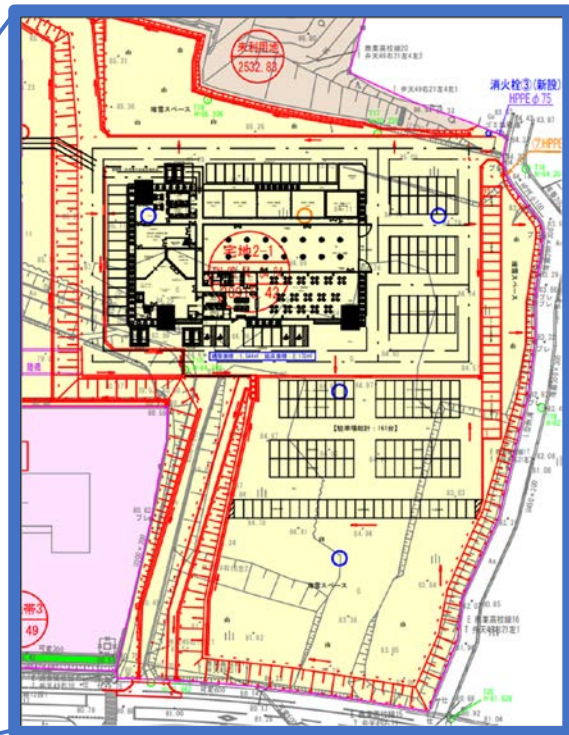
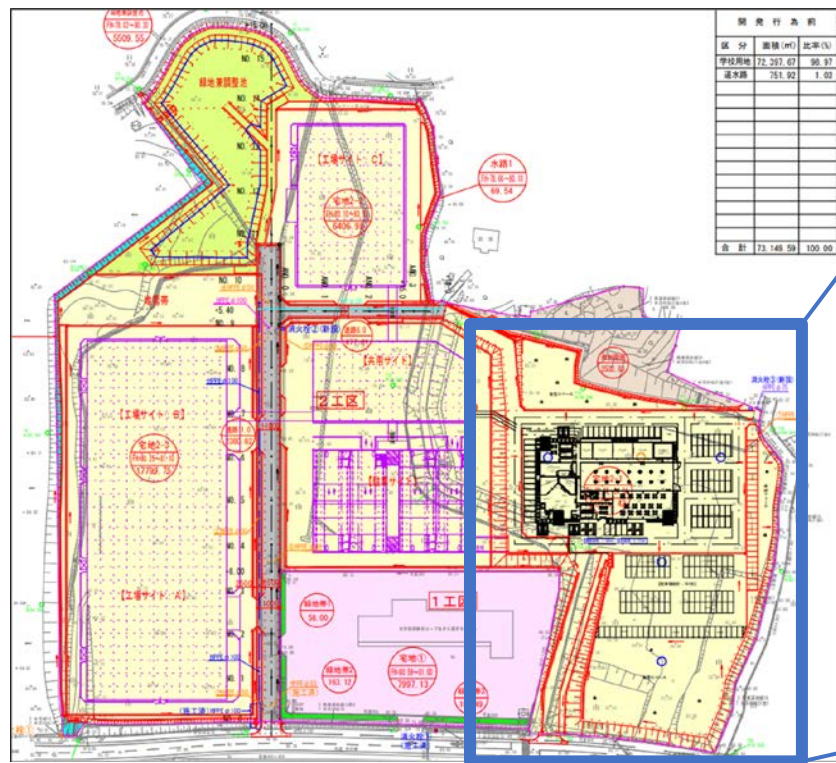
- 昨年報告対比で更なる売上成長に伴って追加の設備投資及び体制増強が必要となり、新工場計画見直しを余儀なくされている（新工場竣工は2028年以降へと後倒しの方向で検討中）
- 2025年中までに中期経営計画を再検討の上で、追加予算を確保

※ 本社移転登記は、2026年12月末までに実行（移転登記場所は、新本社）

- ✓ 新本社/工場一部機能に加え、地域貢献機能を有する建物を建設する予定

新本社・地域貢献施設建設予定場所

土地利用計画図



- ✓ 2026年に東京都足立区から湯沢市へ本社登記移転を実施することにより、湯沢市を中心とした事業運営を行っていくことになります
- ✓ 本社＋工場一部機能を担う建物を建設し、技術者や新入社員の教育、弊社製品・技術のショールーム、＋αの新機能を持たせます
- ✓ 具体的には、役員・社長室・人事総務・広報・教育研修・IPO準備室を予定し、今後に計画するIPOや新工場・独身寮など建設準備の拠点として活用していきます

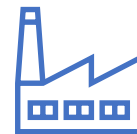
新本社の担う役割



技術者をはじめ、社員教育を充実させ事業の継続的发展を目指す



国内外の顧客の受け入れを可能にする



IPOや工場など建設準備の拠点とする

学び・働き・暮らしを繋ぐ、地域共生施設 ～ Orbrayが灯す、地域の希望の光～



- ✓ 地域と企業が共に成長できる拠点
- ✓ 地方創生と過疎対策への貢献
- ✓ 教育・研修・起業支援・地産地消の推進

例

- ・ 海外人材教育(交流)、地域企業との研修合同実施(ノウハウ・機会共用)
- ・ イベント(観戦/配信)・マルシェ、子供の送迎待機所として提供
- ・ 地域PR、産学官交流、子育て支援など

- ✓ 教育研修強化の取り組みの一環として「Orbray Academy」を開設し、学ぶ風土と仲間づくりを推進

Orbray Academy

パワーアップカレッジ

- 役割や経験に応じて対象者を選定し、対面形式で階層別研修を実施することで、相互理解と実践的な学びを促進
- 女性や海外など多様な視点からのリーダーシップ研修も充実

オープンカレッジ

- ビジネススキル向上を目的に、自己啓発型の「誰でも参加可能な短時間研修」をオンライン・対面の両形式で実施

テクニカルカレッジ

- 研修技術力の土台づくりとして、技術の継承や工場視察を通じた実地での学びを推進

女性推進プロジェクト

『アクセサリープロジェクト』

女性社員が企画から完成まで製品づくりを主導し、約2年の歳月をかけて『ピアス』と『社章』を完成させました。



『Ray プロジェクト』

各拠点から20代・30代の女性社員を選抜し、リーダー育成を目的として各工場での製品について学習しながら、拠点間の横のつながりも強化しています。



遊びながら学ぶ！「Orbray Junior Academy」

マジックショー、ミニ縁日、職場体験、化学実験など、社員有志による企画で毎年好評を博しています。





地元高校生対象ワークショップ
「ふろぷろOrbray」



地域の伝統行事に参加

ブラウブリッツ秋田 スキースクール

ブラウブリッツ秋田によるスキースクールが連続開催！プロの指導者が技術レベルに合わせて指導にあたります。もっともっと上達したい！大空でいい成績を出したい！あなたの目標をサポートします！この冬は思いっきりスキーを楽しもう！

2024年1月6日(土)～2024年2月11日(日)まで
毎週土日開催 (午前10時00分～、午後1時30分～の2回)

会場 天下湯スキー場
(秋田市出町園平内屋敷188)

対象 小学生
(※1人でリフトに乗れる方)

料金
【シーズン参加費】 16,000円 (税込6レッスン参加可能)
【1レッスン参加費】 4,000円 (税込1レッスン参加可能)

※1レッスンは2時間となります。
スキー板とストックとスキーブーツのレンタルも利用込みの金額です。
スキー用具をお持ちでない方は必ず事前にレンタルが必要です。
自前の用具を使用される場合は以下の金額となります。
(シーズン参加費) 12,000円 (1レッスン参加費) 3,000円

QRコード

不要なスキー用具 無料で回収します！

子どもが成長して使わなくなったスキー用具がご自宅にあるいませんか？
処分するにも費用がかかるとお悩みのご家庭は是非ここに！
この冬、ブラウブリッツ秋田は不要なスキー用具を無料で回収いたします！
回収後に子供部屋は思いっきり片付けられます！
回収期間：1月6日～1月11日

【回収できるもの】
スキー板、ストック、スキーブーツ、ヘルメット
【持ち込みの制限】
両足1足につき、(2024シーズン) ブラウブリッツ秋田公式 新着チケット 5枚をプレゼント
【回収場所】
◆秋田駅前 10:00～19:00
スキー専門店 SKI MEDIC SUGAWARA (秋田駅前214号・215号1階)
◆大館市 平日 10:00～16:00
秋田県立大・大館市 秋田県立大・大館市

QRコード

スキースクール



地域連携教育活動への参画



コマ大戦秋田場所参戦



タイ工場植樹活動



女性活躍推進サミット
奥入瀬 森のホテル 2024.09.20



家事・育児・男性セミナー
Orbray[TRAD] 2024.10.14



女性エンジニアカフェ
Orbray[TRAD] 2025.07.04



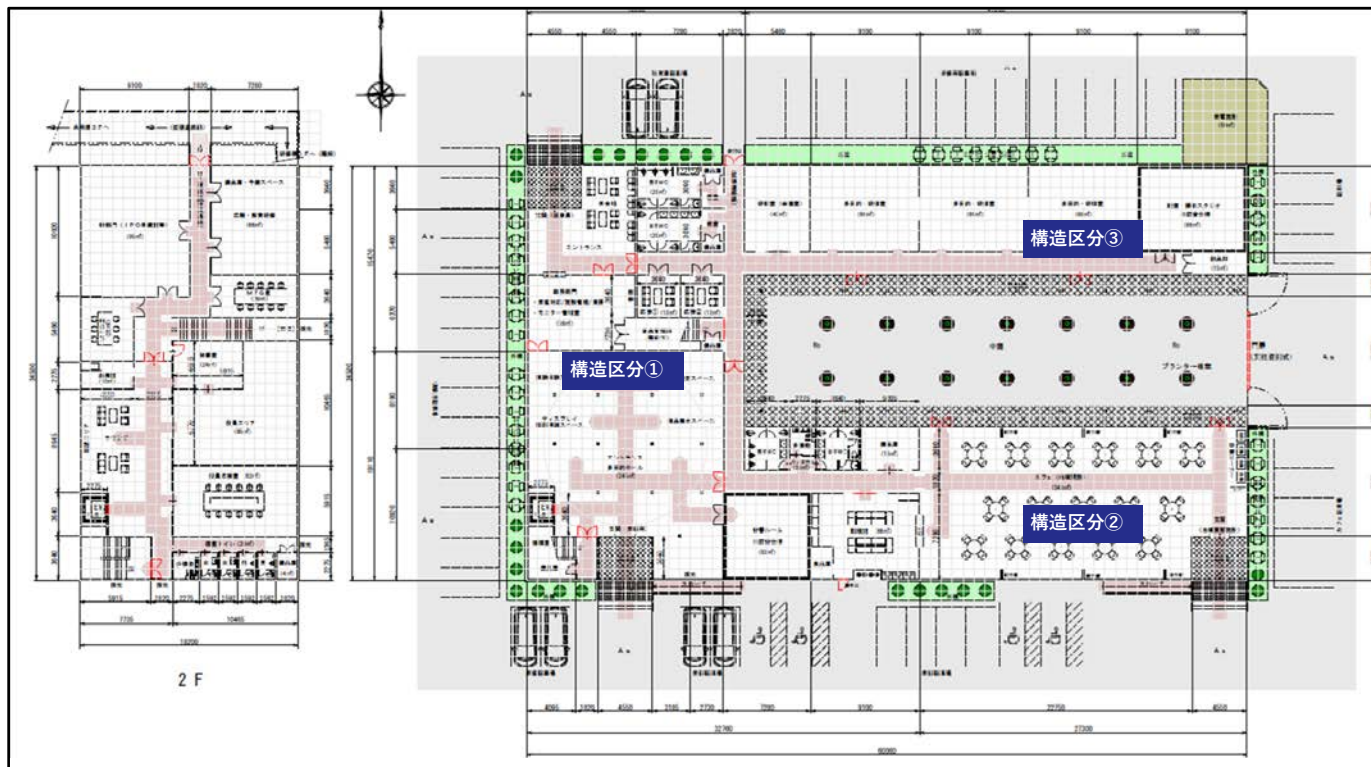
One Akita Fes 2025
ヤマキウ南倉庫 2025.07.31



**女子高生向け工場見学会
～SWEETS & SUCCESS～**
Orbray[TRAD] 2025.08.04



**音楽のまち"ゆざわ"
オーディオ講座**
Orbray[TRAD] 2025.09.28



構造区分①

本社機能(総務管理室、
研修室含む)

階数：一部二階建て

構造区分②

カフェ(地域開放)

階数：平屋建て

構造区分③

多目的・研修室、配信・
撮影スタジオ

階数：平屋建て

建築面積
1,543m²

延床面積
2,172m²

建物平面図・レイアウト予定図になります。日影規制なども考慮し、建物の一部を二階建てにする予定です。

外観① 研修棟の入口側



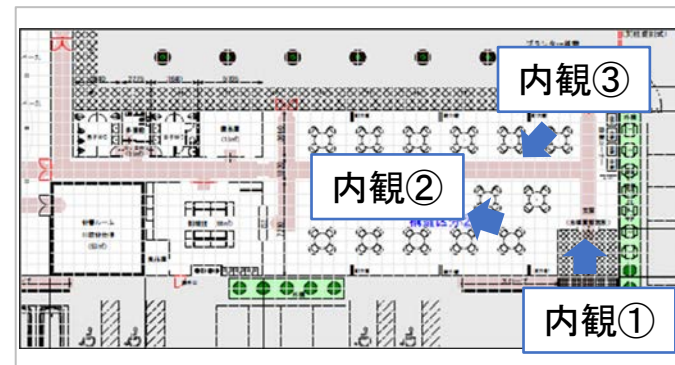
外観② カフェ入口側



外観③ 中庭



内観① カフェ入口から中庭を見る



内観② カフェ入口から厨房を見る



内観③ カフェ入口奥から厨房を見る



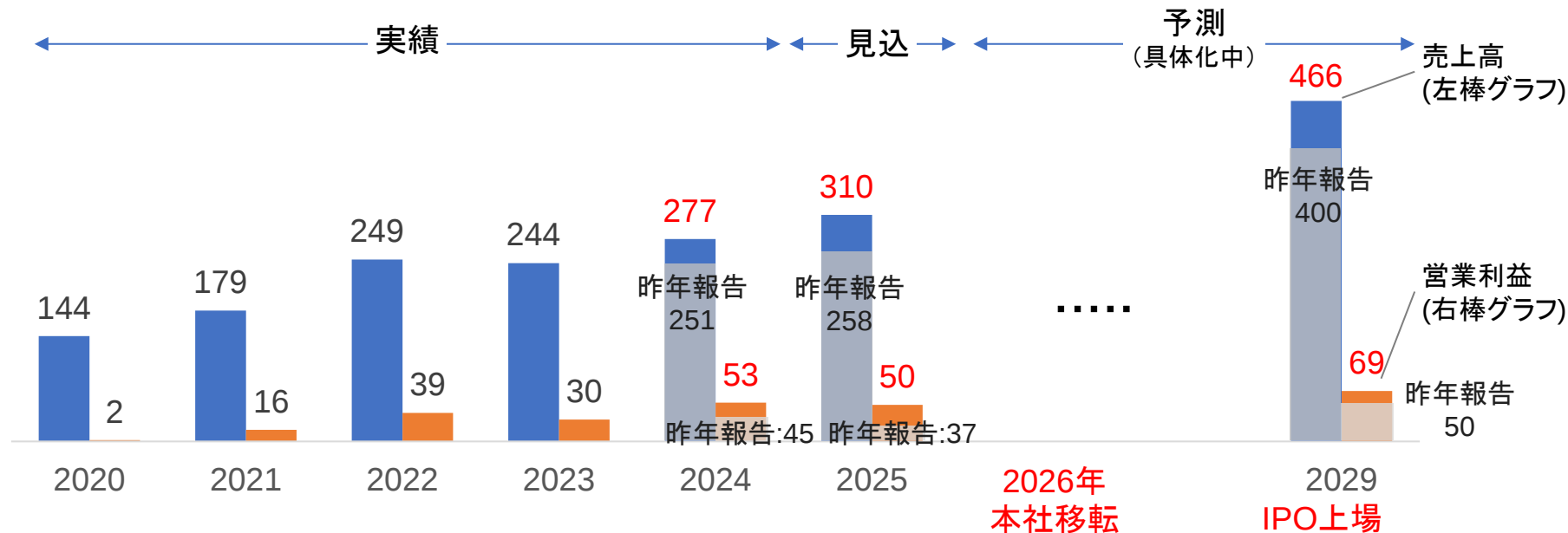
直近の業績状況・中期経営計画の検討状況

弊社業績の上振れ・中期経営計画の再検討

(中期経営計画は現在策定中、2029年売上466億円は上振れる可能性が相応に有り)

Orbray

- ✓ 湯沢含む全事業で昨年7月プレスリリース時の報告（昨年報告）から**足元業績が大幅に上振れ**
 - 2024年 売上：251億円⇒277億円（実績）、営業利益：45億円⇒53億円（実績）
 - 2025年 売上：258億円⇒310億円（見込）、営業利益37億円⇒50億円（見込）
- ✓ 2026年以降につき大型案件だけで売上400億円規模へ成長し、**2029年のグループ売上目標は450億円超となる見込（昨年報告では400億円）⇒中期経営計画を再検討中**



① 売上450億円超への事業成長（上方修正の検討中）

- ✓ 400億円規模の新規大型案件、2029年売上450億円超

② 秋田県湯沢市への本社移転登記、新本社・新工場建設

- ✓ 2026年に新本社建設、秋田県湯沢市への本社移転登記

③ 成長を果たす上での課題：グローバル化・大会社化・更なる財務改善・次世代技術開発・本社機能強化への対応

- ✓ 企画・海外・CSR・ESG・IPO・IT・DX・技術など体制強化

④ 従業員待遇改善・プロパーの幹部登用強化

- ✓ 年率3.3%以上賃上げ（定昇込）、プロパーの登用強化

⑤ IPO・プライム上場（2028年乃至2029年）

- ✓ 最大100億円の資金調達、更なる財務体質改善
- ✓ オーナー経営は継続（ファミリーにて過半の株式所有）

・事業成長
・グローバル化
・待遇改善
・IPO
・新本社新工場建設を実施し、
グローバルメーカー
としてステージアップ
を目指す

1. フォトニクス大型：50億円⇒100数十億円

- ✓ データセンター用2Dファイバアレイ
- ✓ 量子・半導体・軍事など用光デバイス

2. 精密宝石大型：20億円⇒80億円超

- ✓ サファイア基板・パワー半導体用新素材加工

3. モーター大型：30億円⇒40～50億円

- ✓ 医療向けモーター

4. 医療装置大型：100億⇒100数十億円

- ✓ 医療ポンプユニット

5. ダイヤ大型：1億円⇒数十億円

- ✓ 人工ダイヤモンド(車載、半導体、量子)

- ✓ 大型案件だけで、今後売上は400億円規模へ成長（昨年発表200億円）
- ✓ 大型案件への対応に向けて、湯沢の新工場既存工場の生産体制について、更なる増強・見直しが必要
- ✓ 工場体制の整備に留まらず、事業成長投資も実施・加速させていく方針
 - ・ フォトニクスにおける大型案件（データセンターなど）への増強投資
 - ・ 精密宝石におけるサファイア基板・新素材案件への増強投資
 - ・ モーター・医療装置の更なる強化
 - ・ ダイヤモンドの研究開発 など



McKinsey
& company

- ✓ 2030年までに世界のデータセンター投資額は約6.7兆米ドルに達すると予測
- ✓ AI関連の処理能力が全体の約70%を占める見込みでAIワークロードは3.5倍に増加

出所: Who's funding the AI data center boom?



BCG

- ✓ 2023年から2028年にかけてデータセンターの電力需要は年平均16%で成長すると予測。GenAI関連の需要が急増し、米国を中心に1.8兆米ドルの設備投資が見込まれている

出所: データセンター成長の障壁と解決策 - 電力、サプライチェーン、サステナビリティの視点から



EY-Parthenon

- ✓ 2033年までにGenAIへの投資が世界GDPを0.5%~1%押し上げる可能性があり、金額にして5,000億~1兆米ドル規模に達すると予測

出所: Economic growth through capital investment in GenAI

- ✓ AIや生成AI (GenAI) に対する需要の高まりに伴い、世界的にデータセンターへの投資が急速に拡大
- ✓ それに伴ってデータセンターを構成する部品市場も急成長

出所

<https://www.mckinsey.com/featured-insights/sustainable-inclusive-growth/charts/data-center-demands>

<https://www.bcg.com/publications/2025/breaking-barriers-data-center-growth>

https://www.ey.com/en_gl/insights/ai/economic-growth-through-capital-investment-in-gen-ai



日経 XTEC

- ✓ データセンターの省電力化へのニーズを背景に、電力損失の大幅な低減が期待できる「光電融合技術」に注目が集まる
- ✓ 光電融合の市場規模は2028年に6億米ドルと、2022年の約10倍規模になる見込み
- ✓ 今後シリコンフォトニクス市場の急成長が期待されており、2028年には市場規模6億1300万米ドルと、CAGR44%で伸びると試算されている

出所：日経クロステック



Fortune
Business
Insite

- ✓ シリコンフォトニクスの市場規模は2025年の32億7000万米ドルから2032年までに158億3000万米ドルへ成長し、予測期間中に25.3%のCAGRを示すと予測
- ✓ 5G通信の浸透や、ヘルスケア、自動車、農業などの分野での電力需要の増加が市場の成長を後押し

出所

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/mag/ne/18/00110/00001/>

<https://x.gd/T86jP>

出所： Fortune Business Insite



- ✓ データセンター需要の高まるなか、電力損失の大幅な低減が期待できる「光電融合技術」に注目が集まっており、市場の急成長が期待される
- ✓ シリコンフォトニクスは、光電融合技術の中核を担う重要な基盤技術であり、今後のAIやデータセンター需要の拡大に伴って、さらなる成長が期待される



DataHorizon
Research

- ✓ ダイヤモンドを使用した半導体デバイス市場は2033年までに48億米ドルへ拡大し、CAGRは16.7%と予測される
- ✓ EVや通信など高性能で極限環境に対応する電子デバイスへの需要増が牽引し、特にパワーエレクトロニクス分野でシリコンを凌駕する性能で次世代技術の中核を担うと考えられている

出所：DataHorizon Research



RESEARCH
AND
MARKETS

- ✓ ダイヤモンド基板市場は、2024年の1億8,735万米ドルから、2030年までに2億6,511万米ドルに拡大する見込みで、CAGRは5.95%と予測される

出所：RESEARCH AND MARKETS



- ✓ ダイヤモンドは基板から半導体デバイスまで応用範囲を広げながら市場が拡大しており、次世代パワーエレクトロニクスの中核材料としての地位を確立しつつある
- ✓ 基板市場はCAGR約6%の成長を示し、ダイヤモンドを用いた半導体デバイス体市場はCAGR約17%が見込まれ、材料だけでなく、デバイスへの展開が本格化

2 秋田県湯沢市への本社移転登記、新本社・新工場建設

Orbray

2026年12月中までに新本社建設及び湯沢市への本社移転登記完了を計画
更なる売上成長に伴い、新工場計画見直し中（竣工は2028年以降へ後倒し）

新本社(秋田県湯沢市)



本社

- 2025年4月に並木は湯沢市への移住
- 2026年に秋田県湯沢市へ本社移転登記
- 新本社と東京とのダブル本社体制

工場（国内）

- 既存の湯沢3工場・横手工場の体制維持強化の方針に変更無、一部拡張も検討中
- 更なる売上成長に伴い、新工場計画を見直し中（竣工は2028年以降へ後倒し）。
2025年中に中期経営計画を再検討の上で、追加予算を確保
- 新工場以外での生産体制増強（外部より購入・アライアンスなど）も検討中

足元での組織体制強化の実施内容

1. 採用強化

- 国内新卒採用（2026年4月入社）は、60名超の見込
加えて、中途採用も強化中

2. 経営企画及び広報・IR体制の強化

- 事業成長戦略を加速すべく、BCG元幹部やソニーグループ元社長や地域メーカー元経営者など採用、プロパーの登用含め、経営企画体制を強化中
- IPO・資金調達を見据え、対外的な情報発信及び地域PRなどより積極的に推進するため、広報・IR体制を強化中

3. IPO準備メンバーの増強

- 社内異動及び外部採用にて体制増強中。新本社にIPO準備室を設置

4. 地域メンバーの強化、ベトナム高度人材・技能実習生の採用

- 北都銀行様・秋田銀行様より出向者、地域メーカーの元経営者、Aターンなど、地域メンバーの強化。ベトナム高度人材・技能実習生の採用

新本社の建設に
合わせて新本社
機能の体制強化
は順調に進捗中

更に、海外・
CSR・ESG・
IT・DXなどの体
制も強化中

4 従業員待遇改善・プロパーの幹部登用強化

- ✓ 新卒・中途採用の強化、地域メンバーの強化、従業員の待遇改善、プロパー幹部登用の強化とサポート体制強化を検討・推進

• 新卒・中途採用の強化

- 2026年4月、国内新卒60名超が入社予定（大半は東北採用（秋田県・青森県・福島県））
- ベトナム高度人材・技能実習生

• 地域メンバーの強化

- 北都銀行様・秋田銀行様より出向者、地域メーカーの元経営者、Aターンなど

従業員の待遇改善

- 年率3.3%以上賃上げ
- 手当の新設・改善（奨学金返還支援、新生活応援）
- 更なる改善を検討中

- プロパー社員の幹部・管理職への登用強化
- 教育研修の拡充（Orbray Academy）、メンタルヘルスサポートの強化など

多様な人材が安心して働ける環境の整備

採用強化

プロパー幹部登用強化とサポート体制強化

- ✓ IPOプライム市場上場に向けた準備は、順調に進行中。
早ければ2028年9月でのIPOも視野に入れ、検討・準備を進める

現在



2025年

【IPO準備体制構築】

- ✓ 主幹事証券に野村証券、監査法人にEY新日本監査法人を選定
- 両社から弊社の事業性・技術力など高く評価
- 想定時価総額は500～600億円以上（成長前提）

【IPO初期準備】

- ✓ 監査法人によるショートレビュー（IPOに際する課題・対策の整理）
- 上場に向けて前向きな評価
- ✓ IPO実務準備をスタート（本社中心）
- ✓ 従業員還元の仕組みを検討中

2026・2027年

【IPO実務準備】

- ✓ 監査法人による決算など監査
- ✓ IPO実務準備（本社＋各拠点（国内外））
- ✓ 新本社でIPO準備室の立上げ
- ✓ 資金調達のための地域PR強化
- ✓ 従業員還元の仕組み検討

2028年乃至2029年

【IPO審査、資金調達】

- ✓ IPO審査（証券会社審査、取引所審査）
- ✓ 公募による資金調達：最大100億円）
- ✓ 従業員還元の仕組み実行

売上800億円
営業利益100億円
国内屈指の
グローバルリーディ
ングカンパニーへと
発展

売上466億円
プライム上場
グローバル成長

売上250億円
事業再生
計画期間

2040年 売上800億円、営業利益100億円

- ✓ ダイヤの成長（Element Six提携など世界展開強化）
- ✓ 医療の成長（北米医療大手以外・北米以外の展開）
- ✓ 光通信の成長（データセンター・医療・半導体など強化）
- ✓ 新素材の成長（新規の販売先・素材への取組）
- ✓ 研究開発（モーター、多孔質セラミック、酸化ガリウム、多芯高精度フェルール、車載光接続、自己形成光導波路など）
- ✓ 国内外体制の強化、M&A・アライアンス強化

2029年 売上466億円、営業利益69億円

- ✓ 400億円超の新規大型案件、体制強化
- ✓ IPO・プライム上場、新本社・新工場建設
- ✓ 更なる事業成長・財務改善、従業員待遇改善

2024年 売上277億円、営業利益53億円

2023年 売上244億円、営業利益30億円

- ✓ 医療・モーターなど業績改善、従業員待遇改善
- ✓ 3代目（並木里也子）への事業承継、社名変更